

平成 27 年 12 月 1 日

石巻エコEVカーシェアリング検討委員会
委員各位

石巻エコEVカーシェアリング検討委員会
〔事務局：宮城県石巻市大瓜鷲の巣 45-1 仮設大瓜団地集会所〕
(一社)日本カーシェアリング協会内

平成 27 年 11 月 2 日付東北運輸局宛て提出文書 に係る提出後の応答記録

前略

下記のとおり、平成 27 年 11 月 2 日付東北運輸局宛て提出文書（別紙参照）に基づいて東北運輸局より本省宛て確認をいただき、追加のご意見並びにご指導を賜りましたので、前期提出文書に係る提出後の応答記録をまとめ、ご報告いたします。

以後、前記提出文書並びに本書の内容に基づき、新しいカーシェアリングモデルの構築とその実証に取り組む事となります。なお、本書につきましては、平成 27 年 11 月 26 日付にて東北運輸局宛て提出を行ない、確認を頂いております。

ご査収のほど、よろしくお願い申し上げます。

草々

記

指摘箇所	添付「ポンチ絵（抜粋）」について	
1	送信日時	平成 27 年 11 月 12 日 17:05
	送信者	東北運輸局自動車交通部旅客第一課 千葉聖子保障係長
	受信者	株式会社 CDS 経営戦略研究所 奥間保胤
	送信方法	メール
内 容		
支局からの指摘箇所である「車両の利用頻度に応じた負担の按分は妨げない（受益者負担）」につきまして、使用頻度（車両使用、乗合回数）に応じて負担が変わる場合、その変動額が貸渡または運送の対価と判断される可能性が高いため、本件のように月会費徴収で経費を賄うのであれば、一律負担であることを徹底していただくようお願い致します。		

2	送信日時	平成 27 年 11 月 12 日 21:27
	送信者	株式会社 CDS 経営戦略研究所 奥間保胤
	受信者	東北運輸局自動車交通部旅客第一課 千葉聖子保障係長
	送信方法	メール
内 容		
<p>月々ごとに変動しない「事前に共同使用者間でそれぞれに定めた毎月固定額の負担」を順守するように、という理解でよろしいでしょうか。また、念のためではありますが都度利用者に大して車両を貸渡すであるとか運送サービスを提供するといったことは一切ありません。特定住民間において共同使用される車両の分担費用を定期的に積み立てるという意味での月会費という単語であったと記憶しておりますが、不適切との指摘も最もですのでその点も是正するように進めて参りたいと存じます。当然ながら共同使用の枠組みから逸脱した運用はいたしませんので、ご安心頂けましたら幸甚です。</p>		
3	送信日時	平成 27 年 11 月 24 日 16:47
	送信者	東北運輸局自動車交通部旅客第一課 千葉聖子保障係長
	受信者	株式会社 CDS 経営戦略研究所 奥間保胤
	送信方法	メール及び電話による補足
内 容		
<p>会費につきましては、使用頻度に応じて差が生じることは特段支障はございませんが、共同使用契約内容に則って適切に精算が行われるようお願い致します。実態として貸渡の対価と見受けられるような設定を行っている場合や形骸化してしまっているような場合は貸渡の対価あるいは運送の対価とみなされる可能性が高くなりますのでご注意願います。</p>		
補 足		
<p>途中加入者の有無（共同使用者の増減）による負担すべき額の増減などにも配慮し、例えば一万円といった月々定額を一律で全員が負担した上で、実際の利用頻度に応じて一定期間毎（年毎など）に清算するといった形態が望ましい。</p>		

指摘箇所		事業運営について
1	送信日時	平成 27 年 11 月 12 日 17:05
	送信者	東北運輸局自動車交通部旅客第一課 千葉聖子保障係長
	受信者	株式会社 CDS 経営戦略研究所 奥間保胤
	送信方法	メール

	内 容	
	<p>本件事業につきましては、会費制をベースに生活支援サービスと外出サービス等を総合的に行うものであると認識しておりますが、実態としてのサービスが外出支援の輸送や車両の自己使用に偏るような場合においては、会費自体が貸渡・運送の対価と判断されることがありますので、サービスの提供に際しては偏ることの無いようご注意願います。</p>	
2	送信日時	平成 27 年 11 月 12 日 21:27
	送信者	株式会社 CDS 経営戦略研究所 奥間保胤
	受信者	東北運輸局自動車交通部旅客第一課 千葉聖子保障係長
	送信方法	メール
	内 容	
	<p>本件事業について、認識の食い違いがあるように思います。そもそもエコEVカーシェアリング検討委員会で実施を検討しております「事業」とは「地域住民が自発的に互助コミュニティを形成していけるような周辺環境を整える」という事業であり、会費制で生活支援サービスと外出サービスを総合的に行なうといったことは予定しておりません。これはお伺いした際にもご説明しましたとおりと存じます。</p> <p>今回の貴局とのやりとりの主旨は、「小規模コミュニティに属する特定の住民らがボランティアな互助行為を自発的に行なう中で、当該住民らが共同使用する車両を調達するにあたってその調達費用を適正に分担する為にはどのような選択肢があり得るかを検討する」というものであり、特定の何者かが何者かにサービスを提供するといったものではありません。</p>	
3	送信日時	平成 27 年 11 月 24 日 16:47
	送信者	東北運輸局自動車交通部旅客第一課 千葉聖子保障係長
	受信者	株式会社 CDS 経営戦略研究所 奥間保胤
	送信方法	メール
	内 容	
	<p>運営上の結果として、外出支援の輸送や車両の自己使用に偏りが生じないようにご注意いただくようお願い致します。</p>	

以上